

# 日本経済の今後の成長について

下井 直毅 経営情報学部 教授

多摩大学教員サイト URL

<http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/shimoi.html>

## キーワード

日本経済、世界経済、貿易

## 概要

研究テーマは、日本経済の成長である。今後の日本経済の成長の源泉はどこにあるのかということを中心に、雇用のあり方や貿易制度のあり方なども含めて研究を行なっている。

今日、日本経済は多くの課題に直面している。膨れ上がる財政赤字、なかなか脱却できずにいるデフレ問題、貧困と格差の問題、社会保障と税のあり方など、多くの課題が山積している。しかし、こうした問題は、リーマンショック後の世界経済や少子高齢化が進んでいる先進各国でも生じている、今後世界でも見られるであろうとされる共通の課題でもある。こうした課題をいかに克服して、日本経済が今後いかに経済成長を遂げることができるかということを探し、日本の経済発展に寄与したいと考えている。

現在取り組んでいる研究は、服部哲也拓殖大学教授との貿易に関する共同研究で、国際的な生産工程間の分業が構築される中で、比較優位の決定要因を明らかにするというものである。国際産業連関表を用いて、国際的な生産工程間の分業の何が比較優位の差をうみ出しているかを解明しようというものである。これを明らかにして、今後日本が競争力を持ちうる分野を特定し、今後の日本の経済成長を高めるあり方の一助につながればと思っている。

## 利用・用途

### 応用分野

日本が競争力を持ちうる分野を特定し、今後の日本の経済成長を高めるあり方の一助につながる研究とすること。また、環太平洋経済連携協定（TPP）をはじめ、政府は、日欧経済連携協定や中国も参加する東アジア地域包括的経済連携（RCEP）など、新しい「広域連携」のルール作りを主張しているが、そうしたルール作りにおいて、国内の制度改革の指針を示す研究とすることなど。

## 関連論文・著書

1. 「付加価値貿易から見た比較優位」（共著、服部哲也）JCER Discussion Paper No.144、日本経済研究センター、1-25 頁、2016 年。
2. 「日本経済が直面する様々な課題について」（共著）『東アジアの経済協力と共通利益』キャンパス・アジア共通教科書、岡山大学、2015 年 3 月）、49-68 頁（第 4 章）。
3. 「マクロ経済パーフェクトマスター』（第 2 版）（共著、伊藤元重）日本評論社、2014 年。
4. 「財政再建を成功させるための財政規律のあり方―諸外国の事例と日本への含意―」（共著）『財政再建の道筋―震災を超えて次世代に健全な財政を引継ぐために』総合研究開発機構研究報告書、2011 年 4 月）、79-94 頁（第 4 章）。
5. 「日本の空を問う―なぜ世界から取り残されるのか」（共著、伊藤元重）日本経済新聞社、2009 年 8 月。

